

# 全国協議会 ニュース

2007年11月1日発行 第185号

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:中野勝博  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 将来像検討会議報告書発表記者会見開催

去る9月27日、厚生労働省記者クラブ(東京)において造血細胞移植医療将来像検討会議報告書の概要と関係各所あてに提出したことを報告する記者会見を行いました。

会見には、全国協議会から中野理事長、菅事務局長が、そして検討会議からは四方田座長と橋本委員が出席し、記者も15名の方が参加しました。



## 来年度予算概算要求、示される

去る8月末に、厚生労働省より財務省に対し、平成20年度予算の概算要求が示されました。

骨髄移植対策については総額11億7千4百万円で、これは今年度予算に7百万円が上積みされただけであり、率では0.6%の増額計上に過ぎません。昨年度予算に対する今年度の概算要求額の上積みが一億一百万円(本紙第172号参照)で、率にすると8.7%であったことと比較すると、かなり控えめな要求と言えるでしょう。今回の増額要求分のうち、骨髄移植対策事業費(骨髄移植推進財団)関連が646万円、骨髄データバンク登録費(日本赤十字社)関連が51万6千円となつていますが、19年度のそれぞれの予算が、約4億6千万円(骨髄)、7億1千万円(日赤)であること、そして、昨年の日赤分の増額要求分が5千3百万円であったことと比べ合わせると、今回

別表

	20年度概算要求額	19年度予算額
骨髄移植対策	総額 1,174百万円	1,167百万円
<b>&lt;概要&gt;</b>		
(1)骨髄移植対策事業費(骨髄移植推進財団)	463,858千円	457,398千円
・あっせん業務関係事業費	351,452千円	346,215千円
改:専任コーディネーターの増員	66,956千円	62,218千円
・あっせん事業体制整備費	12,931千円	11,724千円
改:骨髄提供登録者フォローアップ事業	9,511千円	8,391千円
・普及啓発事業	94,968千円	94,952千円
・運営管理費等経費	4,507千円	4,507千円
(2)骨髄データバンク登録費(日本赤十字社)	710,401千円	709,885千円
(3)医療提供体制施設整備交付金 保健医療提供体制整備交付金(医政局指導課計上) (特殊病室施設)		

の緊縮振りが顕著であり、今年度中に実現するであろうドナーの過重な負担を軽減する傾向にある一部のコーディネーターの増員に

し、より効率的かつ迅速なコーディネートを果たすための予算化であり、後者は、現状のドナー登録者数と、確固たる提供意思を有するドナー登録者数との乖離を解消するための予算化であろうと思います。普及啓発事業に関しては、例年、新規事業立ち上げにともない、それなりの予算が増額要求されてきましたが、今回の増額分はわずかに1万6千円にとどまっています。これは、財団の近年の普及啓発事業の実態に対する、臓器移植対策室の何らかの意思表示ではないかと思われます。表には示していませんが、国の一般会計全体の概算要求総額を今年度の予算額と比べると7.2%の増額である一方、厚生労働省分についてはみると、3.2%の増額に過ぎません。骨髄移植等については、大項目「感染症・疾病対策の推進」に含まれています。この分野は2千億円規模の予算が組まれています。そして今回の増額要求額は2百2億円で、率にすると10.6%となります。中項目には、新型インフルエンザ、肝炎、エイズ、難病などが挙げられていますが、増額要求の大半は、これらの対策費で占められているものと推測されます。臓器移植と造血幹細胞移植を合わせた移植対策も同じ中項目ですが、こちらは0.7%に抑えられています。元の金額が大きければ、例えば伸び率がわずかでも増額分は大となりませんが、こと骨髄移植関連に限ってみると、額、率ともにかなり地味な概算要求との印象を抱かざるをえません。財務省の満額査定を確実に引き出すための戦術なのか、それとも、骨髄バンク事業はこの予算レベルで十分に運営可能と判断されたのかは不明ですが、臓器移植対策室の意図が、しっかりと込められた概算要求であろうと思われ

## ファミリィゴルフ終了

7月15日の軽井沢を皮切りに全国6箇所で開催されてきた「ブルデンシャル生命/ゴルフダイジェストファミリィゴルフ」も、今回の茨城が最終地となりました。ご協力頂いた皆さま、どうもありがとうございました。

快晴の当日、当会のメンバー4名が10時にクラブに着くと、子どもゴルフ教室のグリーンに沢山の家族が集まって、楽しそうにプレーに熱中していました。当会は、表彰式を行う会場前にPRと小物販売ブースを設置し、プレーを終了して引き上げてきた参加者に宣伝物を渡しな



## 新宿アルタ前で推進イベント開催

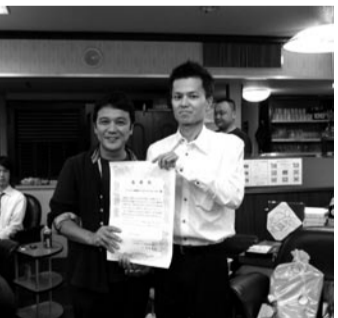
10月8日体育の日の祝日、東京・新宿アルタ前で東京新都市&東京21世紀ライオンズクラブ、骨髄移植推進財団共催の骨髄バンク推進月間の普及啓発とドナー登録会があり、全国協議会と東京の会も参加しました。アルタと言え、かの有名な「笑っていいとも」の公開生スタジアムがあり、当日は来場者や出演者出待ちの人々でごった返す中、1F入り口前の特設ステージでは、骨髄バンク支援ソングを歌うスーパースターバンドによるミニコンサートやアキバ系アイドルやハッスルのファイター、患者・ドナーのトークショーと次々と骨髄バンクへの協力を求めて盛り沢山のイベントが展開されました。



## 雀士に広がれ骨髄バンク!

9月24日、東京は銀座。麻雀「柳」。骨髄バンクを介して移植を受け元気になられた山口明大さんの呼びかけの下、約80名が集まり、17卓を囲んでチャリティー麻雀大会が開催されました。その世界では名の通っておられる競技プロの方も多数参加され、華やかかつ楽しい大会でした。4回戦行われた競技の途中に、骨髄移植についての説明と私の骨髄提供の体験談をお話しし、改めて山口さんに協議会からの感謝状をお渡ししました。

どんな世界でも命があり皆で楽しむことができることは、とても素晴らしいことだと改めて実感しました。本大会を主催してくださった、ニューロン代表の池谷雄一さん、山口明大さん、二階堂ルミさんをはじめ骨髄バンクのことを考え参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ちなみに私の成績はプラス7点の37位でした。次回は春先に開催されるとのこと、もうちょっと頑張りたいと思います。(大橋)

## お待たせいたしました! 2008年版「ハローキティ・シールカレンダー」

毎年ご好評を得ております「ハローキティ・シールカレンダー」を、今年も作成いたしました。もちろん裏面には骨髄バンクのPRが書かれています。友人・知人、職場の皆さまに紹介し、骨髄バンクの普及啓発へのご協力をお願いしてみたいと思います。



【問い合わせ先】  
地元の骨髄バンク支援団体・または  
「特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ  
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階  
TEL03-3356-8217  
FAX03-3356-8637  
e-mail: office@marow.or.jp

※カレンダーと一緒に振込用紙を送付いたします。(料金後払い)在庫無くなり次第終了。ご注文はお早めに!



各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

福岡  
芸術の秋 食欲の秋  
そして骨髄バンク

10月4日モントレ ラ・スール福岡の1Fレストランで「リボンの会」支援の「母へ ふたたびのちをうみだすすべて」のものをへ」と題して空閑ゆき子さんが企画したチャリティランチコンサートを開きました。  
その日、朱の髪飾りに朱の着物で登場した彼女のサプライズには、熱い思いと、清楚で艶やかな着物が似合いました。  
張り詰めた静かな部屋にピアノとソプラノの澄んだ歌声が流れると、会場からため息がもれさりげなく気づかされた曲に心の優しさを覚えました。  
素晴らしい芸術を楽しんだ後



(宮地)

宮崎の会が第43回宮崎日日新聞賞を受賞

みやざき骨髄バンク推進連絡会議が、第43回宮崎日日新聞賞社会賞に選ばれ、去る10月19日、同新聞社代表取締役社長三宅理一郎様より表彰されました。喜びのコメントを紹介します。  
受賞してしまいました。みやざき骨髄バンク推進連絡会議が本県に於いて骨髄バンクドナー登録を積極的に呼び掛け、登録者を急増させ、血液難病患者支援の輪を広げたとして、その功績に対して戴いたものでした。「えっ? 私達か? いいのかしら?」と何だか妙な気分です。やりたい事を、やれる事を、ただやっていると云う自己満足とも言えるような至ってシンプルなボランティア団体。褒められたくてやっているのではないのですけどね(笑)しかし私達の活動に協力、ご支援下さって

いる皆さんと共に戴いた賞と考えると、嬉しくてたまりません。ドナー登録が増えるという事は? パンクの協力が増えるという事は? なぜ私達が熱くなるのか? その意味に気付いて貰えたら嬉しいです。これからも私達は無限にあるであろう、やりたい事を、やれる事をやって行くだけです。みなさん! ありがとう。これからもよろしく!

(中村)



宮日会館での授賞式(写真提供:宮崎日日新聞社)

静岡  
推進月間に2箇所  
中高生向け普及活動

今年の推進月間は、ドナー登録開始年齢が、20歳から18歳に引き下げになったこともあり、近い将来登録可能年齢になる高校生(一部中学生)を対象に「骨髄移植」「骨髄バンク」についてより広く正しい知識を身につけて頂き、骨髄バンクの必要性、定着を図り、具体的な運動に結びつけてもらいたく、県下2箇所で開催しました。

10月6日は三島市民文化会館で、10月13日にはアクトシティ浜松で開催しました。白血病の少女とクラスメイトたちとの交



(古屋)

ごんにちは募金箱

株式会社にかも放送  
(岐阜県可児市)

はじめまして。私たちは、平成16年6月6日に可児市、美濃加茂市を中心エリアに開局した地域コミュニティ放送局、株式会社にかも放送、愛称「FMでんでん」です。

開局間もない頃、「岐阜骨髄献血希望者を募る会」の中野勝博さんが当局を訪ねてみえ、ポスター・パンフレット・ポケットティッシュなどと一緒に募金箱を置いていってくださいました。その日からのご縁になりました。半年に一回ほど、当局のラジオ番組出演を通して、骨髄献血イベントの参加や骨髄献血に

役を立つことが出来ればとても嬉しいです。ご出演いただくことでお役に立つことが出来ればとても嬉しいです。ご出演いただくことでお役に立つことが出来ればとても嬉しいです。

去る8月29日にも、その前月に引越してきたばかりの新しいスタジオにお越し頂き、骨髄献血について呼びかけていただきました。これを期に、募金箱が活躍してくれんことを願っています。(構成局長 吉田房代)

ラジオ放送局から、中野さんのメッセージが、1人でも多くの方に伝わり、夢であり、目標としていらつしやる「岐阜県に骨髄移植の出来る病院を」が一日も早く達成できるように、微力ではありますが、中野さんご自身にご出演いただくことでお役に立つことが出来ればとても嬉しいです。



2007年度賛助会員(9月19日~10月19日)

森山久(敬称略)

全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございます。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしく願いたします。

団体(法人) 年会費 1口 5000円  
個人会員 年会費 1口 2000円  
※お申し込みは全国協議会事務局までお願いいたします。

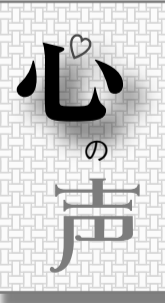
心からのご寄付に  
感謝申し上げます

9月19日~10月19日

株式会社サクラホーム	現金	10,000円
たっくママの投稿募金8月分	現金	5,837円
菊水酒造株式会社	現金	500,000円
株式会社マルキ	現金	100,000円
マルキ会	現金	50,000円
有限会社中部リペア	現金	10,000円
徳島藍ライオンズクラブ	現金	18,370円
瑞浪桔梗ライオンズクラブ	他5ライオンズクラブ	150,000円
ノーレート麻雀ネットワーク	現金	260,554円
騎西町立騎西中学校	現金	5,000円
鈴木章	現金	19,000円
赤沼正清	現金	50,000円
飯島孝枝	現金	2,240円
鈴木純子	現金	2,680円
松尾元春	現金	10,000円
塩谷圭	現金	1,000円
須藤勝巳	現金	10,989円
モリシタミキコ	現金	2,000円
匿名	現金	3,000円
●白血病患者支援基金		
マルキ会	現金	25,660円
瑞浪桔梗ライオンズクラブ	現金	21,791円
イオン都城ショッピングセンター	現金	57,991円
ジャスコ宮崎	現金	32,013円
キッチンパレーヌ	現金	2,387円
ファミリーマートFC池ノ上駅前口店	現金	3,276円
有限会社千曲堂印舗	現金	3,478円
自遊空間札幌伏古店	現金	7,040円
株式会社洋伸	現金	10,481円
株式会社北越ケーズ	現金	86,850円
磯屋食堂	現金	5,749円
●佐藤さち子患者支援基金		
日根和美	現金	10,000円
OCTVチャリティゴルフ大会	現金	41,187円
骨髄バンクGATHERの会	現金	7,232円
株式会社グルメシティ北海道万代店	現金	4,775円
信照寺	現金	9,227円
三澤徹也	現金	5,000円
土肥敏朗	現金	10,000円

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

私の命の恩人、患者さん。心からお礼を言わせて下さい。「助けて下さって、本当にありがとうございます!」  
(H・S/ドナー体験者)



拝啓 患者様。

ドナーになった私ですが、あなたこそが私の命の恩人です。2年前、早起きした私はバイクで出かけた。お気に入りジャケットを着て。これは、11年前にドナーになった記念に「自分へのご褒美」と買ったもので、軽いむちうちと打撲で済んだのです。病室には大きな裂け目の入ったジャケットが……このジャケットが私の身体を守ってくれたのです! きつと患者さんが私の事を見守って下さっていたのでしよう。

痛み、ストレッチャーに乗せられています。えっ、どうしたの、何があつたの? 私は横にいた人に聞きました。「事故に遭ったんですか?」「そうです。」何と、私はトラックとぶつかった。私に後になつて知りました。幸運にも骨折などはなく、軽いむちうちと打撲で済んだのです。あたたく、風を通さず軽くて丈夫、色褪せてもいつまでも着ていました。

……覚えていたのは家からわずか数十メートルまで。気が付いたのは救急車の中。首に鈍い痛み、ストレッチャーに乗せられています。えっ、どうしたの、何があつたの? 私は横にいた人に聞きました。「事故に遭ったんですか?」「そうです。」何と、私はトラックとぶつかった。私に後になつて知りました。幸運にも骨折などはなく、軽いむちうちと打撲で済んだのです。あたたく、風を通さず軽くて丈夫、色褪せてもいつまでも着ていました。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする —— 骨髄バンクNOW

(財団マンスリーレポート(10月15日発行)より抜粋)

●最終同意確認後の撤回に関する説明について  
1994年頃から実施している、ドナーに対して「最終同意後は撤回できない」と説明していることに関して、9月5日の常任理事会に引き続き10月5日の財団常任理事会で審議されました。これまで通りの「撤回できない」と説明する現状維持案と、これまでの説明を改め、「ドナーはいつでも辞退できる」と説明内容を変更する変更案について、それぞれの利点や問題点を挙げて審議されました。しかし、この問題については患者さんやドナーの方に大きな影響をあたえる問題であり、慎重に審議を進めていく必要があるため、当日出席できなかった常任理事を含め、意見を集約することとなり、次回の常任理事会(11月9日)で再度、検討されることになりました。

●中国骨髄バンク(CMDP)と提携、今月末より相互検索業務開始  
9月24日、日本骨髄バンクは中国骨髄バンク(Chinese Marrow Donor Program:CMDP)と提携し、10月29日より相互検索業務を開始します。CMDPのドナー登録者は8月末で約67万人(中国本土のみ)です。この提携により、両国の移植希望患者は各々のバンクに登録する合計約96万人のドナー登録者データベースの検索が可能となり、HLA適合・適合の機会が増大が期待されます。

●日本骨髄バンクの現状(平成19年9月末現在)

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,722	3,055	290,329	366,809
患者登録者数	192	151	2,332	23,546
骨髄移植例数	86	88	-	8,715
20歳未満ドナー	-	109	5,982 <sup>1)</sup>	-
51歳以上ドナー	186 <sup>2)</sup>	81 <sup>3)</sup>	8,543 <sup>4)</sup>	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。  
1) 17年3月~  
2) 51歳以上ドナーの延長数  
3) 51歳以上ドナーの新規登録数  
4) 17年9月~